

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

概 要	○ 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事から災害派遣要請。 ○ 7月7日現在、自衛隊は、約1,070名の態勢をもって、被災現場に約450名、救助犬3頭、重機6両、ヘリ1機及びドローン7機を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。
活動実績	○ 人命救助活動等【7月3日～6日】 ○ 被災現場における活動人員等：延べ1,420名 ○ 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第1戦車大隊(駒門)、第1施設大隊(朝霞)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等 ○ 使用装備：重機6両、ヘリ（UH-1）1機、全天候型ドローン7機、災害救助犬5頭 等 ○ 救助実績：<u>7名</u>（うち3名について警察により死亡を確認） ○ 道路啓開：国道135号線上に堆積した土砂等を除去し、約40mを啓開
本日（7日）の活動	引き続き、以下の活動等を実施 1 人命救助活動 0600以降、陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第1戦車大隊（駒門）、第1施設大隊（朝霞）、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等の人員約320名により、災害救助犬3頭、重機6両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、ドーザー×1）を用いた人命救助活動等を実施中。 2 情報収集等 ○ 全天候型ドローン7機により、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施中。 ○ 東部方面航空隊（立川）のヘリ（UH-1）×1が情報収集を実施中。 3 連絡員の派遣 静岡県庁に3名、熱海市役所に11名、伊豆山現地本部3名の連絡員を派遣中。

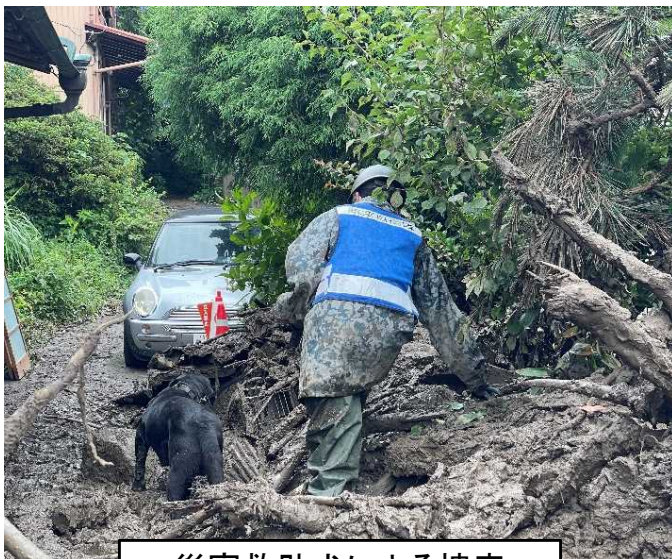
活動状況



安否不明者の搜索活動



救助犬の反応場所を
消防・警察に共有・連携



災害救助犬による搜索



ドローンによる情報収集